

東洋大学文学部紀要

第 67 集

教育学科編 XXXIX

2013 年度



東洋大学

東洋大学文学部紀要

第67集

教育学科編 XXXIX

目 次

発達に障害のある乳幼児への早期介入と家族支援に関する諸問題(9) —『親と教師のための学齢期の子どもの行動支援プログラム—家庭・学校・地域における 豊かな生活をめざして—』の開発と指導の進め方について—	清水 直 治..... 1
ホーリズムの視点に立った授業開発 —課題解決のための協同的・表現的・創造的な学びを通して—	下 田 好 行..... 17
大正期福島県全域における郡教育会方部会・郡市連合教育会の展開	須 田 将 司..... 27
ロンドンの夜間教育活動の拡大と無償型成人教育の専門分化 —「フリー・インスティテュート」を手がかりに—	関 直 規..... 45
「教師としての坂口安吾」考 —教員と教師のあいだ—	藤 本 典 裕..... 53
イギリス生涯学習セクターの指導者養成における大学の役割 —教育方法としての「リフレクション」をめぐって—	矢 口 悦 子..... 61
青森県における大正自由教育の実態解明に向けた基礎的分析（1） —雑誌『自由教育』1・2・3号（1924年）青森県購読者に占める「三戸郡本誌読者」・井口信雄 （1893－1964）の位置づけを中心に—	米 澤 正 雄..... 71
2013年文学部教育学科研究活動報告（2013年1月～12月）.....	85

2013年文学部教育学科研究活動報告

(2013年1月～12月)

榎本 淳子

<研究活動>

【著書】

1. 榎本淳子 (2013). 問題行動への対応：特別なニーズを要する子どもへの対応 山崎準二・藤本典裕・幸田国広 (編著) 教職エッセンシャル 学文社, pp. 59-69.

【論文】

1. Enomoto, J., et al. (2013). Psychosocial factors influencing mental health in adults with congenital heart disease. *Circulation Journal*, 77, 749-755.
2. 榎本淳子 (2013). 成人先天性心疾患患者の心理的特徴と対応 呼吸と循環, 61, 209-215.

【翻訳】

1. 榎本淳子 (2013). 第11章 もし彼らをつぶせないなら, 仲間に入れよう: 青年期の仲間を基盤とする介入 中澤潤 (監訳) 子どもの仲間関係: 発達から援助へ 北大路書房 pp.193-205.

【学会発表】

1. 榎本 淳子 (2013). Psychosocial factors influencing mental health in adults with congenital heart disease. 第15回日本成人先天性心疾患学会総会・学術集会, 招待講演 (東京, 2013. 年1月)
2. 榎本淳子 (2013). 青年の友人関係は15年間にどのように変化したのか? 日本教育心理学会第55回総会発表集, 392. (東京, 2013 月8月)

【研究助成】

1. 平成25年度 日本心理臨床学会研究助成「成人期に達した先天性心疾患患者の心理社会的特徴と必要とされる支援」(研究代表:榎本淳子)
2. 平成25年度 メンタルヘルス岡本記念財団研究・活動助成「成人期に達した先天性心疾患患者の抱える心理的問題とその背景要因」(研

究代表:榎本淳子)

【その他(講師)】

1. 平成25年度 文部科学省初等中等教育 復興支援事業「教師のためのカウンセリング研修会」(主催:一般財団法人日本私学教育研究所) 盛岡白百合学園小学校 (岩手: 7月)
2. 平成25年度 文部科学省初等中等教育 いじめ対策等生徒指導推進事業「いじめ対策等生徒指導研修会」(主催:一般財団法人日本私学教育研究所) 幕張 (千葉: 6月) 福岡 (福岡: 11月)

<教育活動>

【学内】

(学部) 教育心理学, 生徒指導論, 生徒指導研究, 教育実習 I II, 教育学ゼミナール I II, 教育学卒論ゼミナール, 教職総合ゼミナール,
(大学院) 教育相談学特殊講義

【学外】

<学会活動>

日本教育心理学会 (会員)
日本発達心理学会 (会員)
日本心理学会 (会員)
日本心理臨床学会 (会員)
日本小児循環器学会 (会員)
日本小児保健協会 (会員)

<社会的活動等>

千葉県循環器病センター 成人先天性心疾患診療部 臨床心理士

緒方 登士雄

<研究活動>

【講演等】

1. 東京地区教職課程研究連絡協議会・関東地区私立大学教職課程研究連絡協議会合同研究大会シンポジウム (平成25年5月11日、帝京平成大学) のシンポジストとして話題提供 演

題：「教員養成改革への対応と課題」私立大学での取り組みと課題 東洋大学の取り組み — 往還型教育実習システム（東洋大学モデル） — について

<教育活動>

【学内】

(学部) 肢体不自由児・者の教育臨床、肢体不自由児の指導法、特別支援学校教育実習、教育学演習

(大学院) 発達障害児臨床心理研究特殊講義、教育学特殊研究、教育学研究指導

【学外】

青山学院大学大学院 「障害者（児）心理学演習」
<大学・学部管理運営活動>

1. 学生相談室専門員

<学会活動>

1. 日本発達障害学会（会員）、日本心理臨床学会（社員（評議員））、日本特殊教育学会（会員）、日本リハビリテーション心理学会（常任理事）、日本臨床動作学会（常任理事）、日本教育心理学会（会員）、日本心理学会（会員）
2. 日本臨床動作学会第21回大会大会長（会場：東洋大学）

<社会的活動等>

1. 東洋大学人間科学総合研究所発達臨床相談室相談員、千代田区特別支援教育発達支援アドバイザー、九州大学大学院人間環境学府附属「発達臨床心理センター」研究員、日本臨床心理士会会員
2. JDDNET第9回年次大会副大会長（会場：東洋大学）

桂 直 美

<研究活動>

【論文】

「スズキメソッド」の教育理念 — ナラティブ分析による教師文化研究試論 —、東洋大学文学部紀要第66集、2013年、pp9-16

【学会発表】

美的教育ワークショップによる音楽教育実践の検討 — リンカーンセンター「美的教育」の学校教育における可能性 —、日本学校音楽教育実践学会第18回大会、2013年8月（桂直美、猶原和子）
マクシン・グリーン「美的教育」 — ワークショッ

プ」による文化的実践の実現 —、日本教育方法学会第49回大会、2013年10月

スズキメソッド音楽教育論の原点を探る

— 「教師文化」から見るスズキメソッド —

日本音楽教育学会第44回大会、2013年10月

【研究助成】

日本学術振興会科学研究費補助金（基盤研究（C））（2012年度・2014年度）「スズキメソッドによる『才能教育』モデルと教師文化の研究」（研究代表者）

<教育活動>

【学内担当授業科目等（学部）】

初等科音楽、初等教科教育法 {音楽}、教育課程論、教育の現代的課題、教育学ゼミナールⅠ・Ⅱ、入門ゼミナール

【学内担当授業科目等（大学院）】

授業分析論特殊講義、教育学研究指導 XI、音楽科教育研究演習

【学外担当授業科目等（学部）】

初等音楽科教育法（東京学芸大学）

初等音楽（筑波大学）

<学会活動>

【所属する学会と役職等】

日本教育方法学会 会員

日本教育学会 会員

日本音楽教育学会 会員

日本デュイイ学会 会員、紀要編集委員会委員

日本カリキュラム学会 会員

日本教材学会 会員、紀要編集委員会委員

日本学校音楽教育実践学会 会員

日本民俗音楽学会 会員

日本質的心理学会 会員

American Educational Research Association

会員

北 澤 俊 之

<研究活動>

【論文】

「行為を起点とした表現活動の可能性と今日の意義」『日本美術教育研究論集46』（社）日本美術教育連合、pp.37-46、2013.3

【研究発表】

「LCI『美的教育プログラム』にみる学びの可能性」、第47回日本美術教育研究発表会、東京家政大学、2013.10.20

【分担執筆】

「教師と児童生徒との関係性」『教職エッセンシャル』学文社、2013.8, pp.42-50

【啓蒙書等】

「表現の芽を楽しむ」『児童心理2月号臨時増刊』第67巻, 第3号, 金子書房, pp.121-123

【展覧会】

「輪の会展」リベストギャラリー創、2013.5.16～22

<教育活動>

【学内】

(学部) 初等図画工作、初等図画工作教育法、授業論、教育実習ⅠⅡ、教育学ゼミナールⅠⅡ、教職入門ゼミナール、教職実践演習(大学院) 図画工作・美術教育研究演習(通信) 教育実習ⅠⅡ

【学外】

初等図画工作教育法・初等教科専門図画工作(早稲田大学教育学部)

<学会活動>

造形教育センター(2013年8月まで委員長、9月以降会員)、全国大学造形美術教育教員養成協議会(委員)、美術科教育学会(会員)、大学美術科教育学会(会員)、日本美術教育連合(会員)

<その他>

1. 開隆堂 図画工作教科書編著者
2. 文京区教育研究会図工部会講師(文京区立指ヶ谷小学校)、2013.12.4
3. 全国児童画コンクール(毎日新聞社主催) 審査員2013.10.14

栗原久

<研究活動>

【論文】

1. 栗原久「高等学校公民科の学習指導計画と学習指導案作成『政治・経済』 3. 学習指導案の作成事例(4)「国民経済と国際経済」に関する学習」日本公民教育学会編『テキストブック公民教育』第一学習社、2013年, 所収。
2. 栗原久「高等学校公民科の学習指導計画と学習指導案作成『政治・経済』 3. 学習指導案の作成事例(6)「国際社会の政治や経済の諸課題」に関する学習」日本公民教育学会編『テキストブック公民教育』第一学習社、2013年,

所収。

3. 栗原久「3 社会・公民科らしい授業をつくる[公民(中高等学校)]」山崎準二・藤本典裕・幸田国広編著『教職エッセンシャル—学び続ける教師をめざす実践演習—』2013年, 所収。

【学会発表】

1. 山根栄次・猪瀬武則・栗原久・服部一秀・宮原悟「国の累積債務1000兆円時代における財政の教育一税に対する生徒の知識・意識の調査結果を中心に—」日本社会科教育学会第63回全国研究大会(山形大学)、2013年10月。
2. 山根栄次・宮原悟・猪瀬武則・栗原久・服部一秀「諸外国の税教育—英・米・独・豪・新西蘭の場合—」全国社会科教育学会第62回全国研究大会(山口大学)、2013年11月。

【研究助成】

1. 研究代表者・栗原久「持続可能な日本農業を構築するための農業経済教育カリキュラムの開発」(平成23～25年度, 基盤研究(C))
2. 研究分担者・栗原久「国の累積債務1000兆円時代における税務教育理論の構築とカリキュラム開発」(研究代表者・山根栄次三重大学教授, 平成23～25年度, 挑戦的萌芽研究)

【その他】

1. 栗原久「『なぜ』へ説明させる社会科の授業—資料集を使って問を立て『なぜならば』を追究する—」一般社団法人日本図書教材協会「図書教材新報 Vol.100」, 2013年。

<教育活動>

【学内】

(学部) 教育学入門ゼミナール, 教職総合ゼミナール, 教育学ゼミナールⅠ・Ⅱ, 教育学卒業論文ゼミナール, 社会・公民指導法Ⅰ・Ⅱ, 教育実習Ⅰ・Ⅱ
(大学院) 学習指導論特殊講義・教育学研究指導Ⅴ,
(通信) 教職実践演習

【学外】

埼玉大学教育学部「社会科指導法D」, 茨城大学人文学部「公民科指導法」
<大学・学部管理運営活動>

1. 教育学科人間発達専攻専攻長, 第2部教育学科長
<学会活動>

1. 日本社会科教育学会幹事, 学会誌編集委員
2. 日本公民教育学会常任理事, 学会誌編集長
＜社会的活動等＞
1. 長野県総合教育センター選択必修研修「中高公民基礎—金融教育を中心として—」講師
2. 日本証券業協会「金融経済教育を推進する研究会」委員

幸 田 国 広

＜研究活動＞

【著書】

1. 共著『中学校・高等学校国語科教育法研究』東洋館出版社、2013年3月、担当部分「第三章第四節『現代文A・B』の学習指導」(P. 83-88)
2. 共編著『教職エッセンシャル 学び続ける教師をめざす実践演習』学文社、2013年8月、担当部分「Part.3 1 国語科学習指導の実践力向上を目指して」(P. 72-83)

【論文】

1. 『『定番教材』の誕生 『羅生門』教材史研究の空隙』『国語科教育』第74集、全国大学国語教育学会、2013年9月 (P. 14-21)

＜教育活動＞

【学内】

(学部) 学部:「国語科指導法ⅠⅡ」「教科教育法(国語)」「初等科国語」「教育学ゼミナールⅠⅡ」「卒論ゼミナール」「教育実習ⅠⅡ」(以上1部)「教職実践演習」(2部)

(大学院) 大学院:「国語科教育研究演習」

(通信) 通信:「国語科指導法Ⅱ」

＜大学・学部管理運営活動＞

1. 教職課程運営委員 (教職実践演習小委員長)
2. 文学部自己点検・評価委員 他

＜学会活動＞

1. 全国大学国語教育学会
2. 日本国語教育学会
3. 日本文学協会
4. 国語教育史学会 (編集委員)
5. 早稲田大学国語教育学会他

＜社会的活動等＞

1. NHK ラジオ高校講座「国語表現Ⅰ」レギュラー講師
2. 教育出版高校国語教科書編集委員 『国語総

合』『国語表現』『現代文B』担当

3. 日野市立日野第二小学校校内研究会 (日野市研究奨励校) 指導講師 (2012年4月～2014年3月)

齋 藤 里 美

＜研究活動＞

【論文】

1. 「質の高い教育をもたらす指導環境とは何か TALIS 調査の意義と課題」『SYNAPSE』2013年3月号, pp. 10-13.
2. 「教育成果の検証とその世界的標準化 — OECD 国際教員指導環境調査 (TALIS) がもたらすもの」『教育目標・評価学会紀要』第23号 (2013年11月), pp. 1-10.

【研究助成】

1. 日本学術振興会科学研究費補助金 (基盤研究B) 「EUにおける移民第二世代の学校適応に関する人類学的研究」(研究代表者: 山本須美子).

【講演等】

1. 北海道後志教育研修センター主催 講演会「子どもの表現力を伸ばすには」(会場: 倶知安町文化福祉センター), 2013年8月6日.
2. 滋賀県東近江市教育委員会主催 講演会「子どもの表現力を伸ばすには」(会場: 東近江市みすまの館), 2013年8月9日.
3. 桶川市桶川公民館主催 講演会「子どもの表現力を伸ばすには」(会場: 桶川市桶川公民館), 2013年10月23日.

＜教育活動＞

【学内】

(学部) 学校教育社会学(1部、2部)、比較社会論(1部)、教育学入門ゼミナール(1部)、教職総合ゼミナール(1部)、教育学ゼミナールⅠおよびⅡ(1部)、教育学卒論ゼミナール、全学総合科目ⅠB

(大学院) 学校教育研究演習、教育学研究指導Ⅳ(以上博士前期課程)、教育学特殊研究Ⅴ、教育学研究指導Ⅴ(以上博士後期課程)

＜大学・学部管理運営活動＞

1. 東洋大学アジア文化研究所運営委員、研究年報編集委員
2. 東洋大学社会学部「体験型教育プロジェクト

による地域連携の推進」外部評価委員

<学会活動>

1. 教育目標・評価学会理事および教育目標・評価学会第24回大会第2分科会司会（2013年12月1日）
2. 日本教育学会会員および日本教育学会第72回大会分科会（比較教育）司会（2013年8月30日）
3. 日本教育社会学会 会員
4. 日本比較教育学会 会員
5. 日本教師教育学会 会員

<社会的活動等>

1. 華中科技大学外国語学院 客員教授
2. 特定非営利活動法人 リビングバリュー推進協会 副理事長

篠崎 信之

<研究活動>

【論文】

1. 「ドライバー概念の展開」『交流分析研究』、第38巻、第1号、pp.44-51 2013年6月30日

【翻訳】

1. トニー・ティルニー（著）・深澤道子（監訳）・篠崎信之（訳者代表）『交流分析事典』実務教育出版 2013年12月10日

【その他】

1. 「交流分析への招待」 トニー・ティルニー（著）・深澤道子（監訳）・篠崎信之（訳者代表）『交流分析事典』実務教育出版、pp.x-xvi 2013年12月10日

【講演】

1. 「TAにおける気づき」 日本TA協会第26回大会 2013年4月28日

<教育活動>

（大学院）カウンセリング実習、臨床教育心理治療法特殊講義

<大学・学部管理運営活動>

東洋大学人間科学総合研究所紀要編集委員会委員

<学会活動>

The International Transactional Analysis Association (Regular Member、Certified Transactional Analyst)、日本交流分析学会（会員）、日本TA協会（理事）、日本心理学会（会員）、日本パーソナリティ心理学会、日本健康心理学会（会員）、日本感情心理学会（会員）、第26回日本

TA協会大会実行委員、日本キャリア教育学会（会員）

<社会的活動等>

1. ひらかわクリニック非常勤臨床心理士

下田 好行

<研究活動>

【論文】

1. 下田好行「ホリスティックな立場にたつ教材開発の枠組みとその実際—教科横断的に「言語活動の充実」を図った算数の教材開発と授業実践を通して—」『教育の眼経営の眼』第20号（研究所創立20周年記念）函館教育経営研究所 2013.3 p.p.62-71
2. 下田好行「NIEで道徳教育—ホリスティックな立場から市民性を育成する—」福田弘・吉田武男編『道徳教育の理論と実践』新教職教育講座第8巻 協同出版 2013.7 p.p.213-232
3. 下田好行「人間における霊性の進化と「キリストの秘儀」—ルドルフ・シュタイナーの人格学をてがかりとして—」明治学院大学キリスト教研究所編『境界を超えるキリスト教』教文館 2013.6 p.p.290-308

【その他】

1. 下田好行「すべては自分の中にある—教師としての現実存在に生きよ—」『教育新聞』第3165号「若手教師をどう育てるか—教師力向上へのアドバイス—」2013年1月1日 p.7
2. 下田好行「子どもが意欲的になる授業—教師が現実存在に生きること—」『月刊教職研修』教育開発研究所 2013.2 p.p.48-49
3. 下田好行「教材の解釈」日本教材学会編『教材事典—教材研究の理論と実際』東京堂出版 2013.9 p.p.31-32
4. 下田好行「社会的な資質—社会とは何か、自己成長とは何か—」日本教材学会編『教材事典—教材研究の理論と実際』東京堂出版 2013.9 p.512
5. 下田好行「自主的・実践的な活動—自主性・自律性とは何か—」日本教材学会編『教材事典—教材研究の理論と実際』東京堂出版 2013.9 p.513
6. 下田好行「在り方生き方とキャリア教育—市

民社会に参画する能力を育成する—」日本教材学会編『教材事典—教材研究の理論と実際』東京堂出版 2013.9 p.514

7. 下田好行「社会的な資質—活用とは何か、社会的資質とは何か」日本教材学会編『教材事典—教材研究の理論と実際』東京堂出版 2013.9 p.524
8. 下田好行「自主的・実践的な活動—人間の発達段階と体験—」日本教材学会編『教材事典—教材研究の理論と実際』東京堂出版 2013.9 p.525
9. 下田好行「在り方生き方とキャリア教育」日本教材学会編『教材事典—教材研究の理論と実際』東京堂出版 2013.9 p.526
10. 下田好行「今を肯定し未来に希望をつなぐ」『パポテ』NO.93「教育のあるべき姿とは何か」進学社 2013.10 p.p.16-17

【学会発表】

1. 下田好行「ホリスティックな視点からの授業研究—形象・自証の理論とその授業実践を通して—」日本教材学会『設立25周年記念研究発表大会 研究発表論文集』日本大学文理学部 2013.10.19-20 p.p.138-139
2. 下田好行「活用力を育成する教材の開発とは何か—教育関連産業、それぞれの立場から—」日本教材学会『設立25周年記念研究発表大会 研究発表論文集』日本大学文理学部 2013.10.19-20 p.170
3. 下田好行「教師としての宮澤賢治—宮澤賢治の授業の特徴—」関東教育学会『第61回発表要旨集録』玉川大学 2013.11.16 p.p.31-32

【研究助成】

- ・科学研究費補助金基盤研究C「ホリスティックな立場からの教材・授業開発に関する研究」日本学術振興会 研究代表 2011-2013年度

<講演>

下田好行「教師の職能成長と暗黙知—教師の創造性とエンパワーメント—」北海道教師塾 2013.1.14 於 ホテルライフオート札幌

<教育活動>

【学内】

(学部) 教育方法論 (教育学科 I 部: 初等教育、人間発達、教育学科 II 部) 教育方法研究 (文学部、社会学部、法学部) 教職総合ゼミナール (教育学科 II 部) 教育学ゼミ

ナール I・II 教育学卒論ゼミナール
(大学院) 学習指導論研究演習 教育学研究指導
VIII

【学外】

- ・学校図書館司書教諭講習会 (文部科学省) 於 信州大学教育学部 「学習指導と学校図書館」 講師
- ・松本大学 教職課程 「教育方法論」「特別活動の指導法」 講師
- ・立正大学 社会福祉学部 「教育方法論」 講師
- ・明治学院大学 心理学部 「教育発達学演習 II」 講師

<学会活動>

- ・日本教材学会 会員 常任理事 同 研究懇話会 委員長
- ・日本国語教育学会 会員 理事
- ・関東教育学会 会員 会計監査
- ・日本教育方法学会 会員
- ・日本カリキュラム学会 会員
- ・日本特別活動学会 会員
- ・日本道德教育学会 会員

<社会的活動>

- ・厚生労働省 社会保障審議会 福祉文化分科会 委員 出版物委員会 副委員長
- ・全国学校図書館協議会 機関紙『学校図書館』 編集委員
- ・日本教材文化研究財団 評議員
- ・品川区立上神明小学校 学校評価委員長
- ・茅ヶ崎市立円蔵小学校 学校評価委員長

清水直治

<研究活動>

【著書】

清水直治 (監修・編著) 『新版ポーターズ早期教育プログラム』初級研修セミナーテキスト.

認定 NPO 法人日本ポーターズ協会 2013年7月

清水直治 (監修・編著) ポーターズプログラム入門—『新版ポーターズ早期教育プログラム—』

セミナー—テキスト. 認定 NPO 法人日本ポーターズ協会 2013年6月

【論文】

発達に障害のある乳幼児への早期介入と家族支援に関する諸問題 (8) 一日常の生活場面における罰を使わない早期介入のための「問題行動

(challenging behavior)」の理解と対処について。東洋大学文学部紀要，第66集，教育学科編 XX XVIII，25-35。 2013年2月

新しきもの出で立つ思い—星槎大学共生科学研究会編『共生科学研究序説』を読んで—。共生科学，第4巻，115-121。 2013年5月

【研究発表】

発達遅滞乳幼児の早期からの発達相談と家族支援—(1)『インクルージョン保育を展開するための幼児・グループ指導カリキュラム』の臨床的妥当性の検討—。(共同研究)日本発達障害学会第48回大会(早稲田大学) 2013年8月25日

発達遅滞乳幼児の早期からの発達相談と家族支援—(2)『親と教師のための学齢期の子どもの行動支援プログラム』(仮)の理念と構成。(共同研究)日本発達障害学会第48回大会(共同研究)(早稲田大学) 2013年8月25日

学齢期の子どもの行動支援プログラム—豊かな家庭生活、学校生活、地域生活のために—。(共同研究)第51回日本特殊教育学会(明星大学) 2013年8月31日

【講演・助言】

第51回ポーターゲジプログラム研修セミナー(初級)(大阪・泉が丘ビックアイ)(講師) 2013年1月11日～13日

第26回ポーターゲジプログラム研修セミナー(中級)(東京・東洋大学白山校舎)(講師) 2013年2月2日～4日

平成25年度 応用コース(ポーターゲジプログラム)(佐賀・佐賀県療育支援センター)(講師) 2013年2月15日～17日

グループ指導カリキュラム研修会(岐阜・可児市児童発達支援センター「くれよん」)(講師) 2013年2月25日

第52回ポーターゲジプログラム研修セミナー(初級)(東京・東洋大学白山校舎)(講師) 2013年3月16日～18日

グループ指導カリキュラム研修会(千葉・みなみ高柳保育園)(講師) 2013年4月22日

第28回ポーターゲジプログラム認定相談員事例研究会(東京・東洋大学白山校舎)(講師助言者) 2013年4月27日～28日

こころ保育園研修会「問題行動の理解と対処」(東京・多摩市)(講師) 2013年5月9日

グループ指導カリキュラム研修会(岐阜・可児市

児童発達支援センター「くれよん」)(講師) 2013年6月17日

こころ保育園研修会「ポーターゲジプログラム」(東京・多摩市)(講師) 2013年7月1日

グループ指導カリキュラム一日セミナー(神奈川・川崎小児中央療育センター)(講師) 2013年7月6日

グループ指導カリキュラム研修会(千葉・みなみ高柳保育園)(講師) 2013年7月11日

第53回ポーターゲジプログラム研修セミナー(初級)(神奈川・箱根強羅静雲荘)(講師) 2013年7月20日～22日

ポーターゲジプログラム一日セミナー(秋田・児童デイサービス「若竹学園」)(講師) 2013年8月31日

第7回幼児・グループ指導カリキュラムセミナー(東京・東洋大学白山校舎)(講師助言者) 2013年9月21日～22日

第29回ポーターゲジプログラム認定相談員事例研究会(東京・東洋大学白山校舎)(講師助言者) 2013年9月28日～29日

第21回アジア知的障害会議プレカンファレンスワークショップ「アジアのポーターゲジ」(講師)(ニューデリー・インド) 2013年10月7日

グループ指導カリキュラム研修会(八王子・すぎな愛育園)(講師) 2013年10月28日

親のためのポーターゲジ学習会(石川・かんぼの宿八代)(講師) 2013年11月1日

第28回ポーターゲジプログラム研修セミナー(中級)(石川・かんぼの宿八代)(講師) 2013年11月2日～4日

【学会活動】

日本行動分析学会(監事)、日本共生科学会(常任理事)、日本発達障害学会、日本心理学会、日本教育心理学会、日本発達心理学会、日本行動療法学会、日本行動科学会、

【学内】

東洋大学人間科学総合研究所研究員
東洋大学人間科学総合研究所付設発達臨床相談室室長

<教育活動>

【学内】

学部 知的障害児・者の心理と臨床(I部・II部)、
カウンセリングの理論と実際(I部・II部)、
教育学入門ゼミナール(I部)、教職総合

ゼミナール (I 部)、教育学ゼミナール I・II (I 部)

大学院 臨床教育心理学特殊講義〔前〕、教育学研究指導〔前〕、教育学特殊研究〔後〕、教育学研究指導〔後〕

【学外】

国立障害者リハビリテーションセンター自立支援局秩父学園付属保護指導職員養成所(「心理学一般」非常勤講師:集中講義)

<社会的活動>

認定 NPO 法人日本ポーターズ協会(会長)

<海外出張>

第21回アジア知的障害会議(ニューデリー・インド) 2013年10月5日~10月12日

須田 将司

<研究活動>

【著書】

1. 【解説】戦後新教育・「実力の検討」実践資料集『戦後新教育・「実力の検討」実践資料集 第1巻』不二出版、2013年6月、1—16頁。及び全4巻の資料選定
2. 「教師の使命 —先人たちの姿に学ぶ」山崎準二、藤本典裕、幸田国広 編著『教職エッセンシャル』学文社、2013年8月、24—31頁

【論文等】

1. 須田将司・武藤正人「1930年代における報徳教育の創出過程に関する一考察—静岡県土方村の「先駆」性の検討を中心に—」『東洋大学文学部紀要』第66集教育学科編XXXVIII、2013年2月、53—65頁
2. 「戦前・戦後の教育実践を語る—報徳教育・福沢プラン・井上喜一郎—」『東洋大学文学部紀要』第66集教育学科編XXXVIII、2013年2月、37—52頁
3. 「教育史の窓から見える近現代の相馬—地域に根ざした教育群像—」相馬郷土研究会『相馬郷土』第28号、2013年5月、44—51頁
4. 「1930年代における報徳教育実践の創出—神奈川県・富山県における模索の諸相—」全国地方教育史学会『地方教育史研究』第34号、2013年5月、49—72頁

【学会発表】

1. 「神奈川県福沢小学校における「実力の検討」

シリーズの連載—戦後初期社会科「福沢プラン」のその後—」東北教育学会第70回大会、仙台白百合女子大学、2013年3月9日

2. 「1930年代における学校報徳社・児童常会の端緒—富山県下指定教化村の報徳教育に着目して—」教育史学会第57回大会、福岡大学、2013年10月14日
3. 「大正期福島県全域における郡内方部会・郡市連合教育会の展開」教育史学会第57回大会、福岡大学、2013年10月14日

【研究助成】

1. 日本学術振興会平成22~24年度科学研究費補助金(若手研究B)「昭和前期における地域社会学校論の形成史研究」(研究代表者)
2. 日本学術振興会平成24~26年度科学研究費補助金(基盤研究B)「近代日本における教育情報回路と教育統制に関する総合的研究」(研究協力者)
3. 日本学術振興会平成25~27年度科学研究費補助金(若手研究B)「昭和戦前期「報徳教育」の錬成的・教育学的展開に関する実証的研究」(研究代表者)

【報告書】

1. 「神奈川県内における戦後教員組織の再編と教育研究団体の発足について—研究の総括と今後の研究推進の在り方—」教育情報回路研究会『近代日本における教育情報回路と教育統制に関する総合的研究 中間報告書(I)』、2013年3月、27—42頁

【その他】

1. 書評「山本悠三著『近代日本の思想善導と国民統合』」教育史学会『日本の教育史学』第56集、2013年10月、179—180頁

【講演】

1. 「昭和戦前期における福沢小学校・国民学校の報徳教育—「生活即教育」の展開—」第489回(小田原第309回)報徳ゼミ、報徳博物館、2013年2月10日

<教育活動>

【学内担当授業科目】

(学部) 社会文化史(日本)、社会文化史(西洋)、教育史、教育基礎論 I、教育基礎論 II、教育実習 I・II、教職実践演習(I部)、教育学ゼミナール I・II (I部)

(大学院) 比較教育史特殊講義

【学内その他】

東洋大学居合道同好会（顧問）

<学会活動>

1. 教育史学会（会員）
2. 日本教育学会（会員）
3. 全国地方教育史学会（会員）
4. 日本教育史研究会（事務局長）
5. 日本教育史学会（会員）
6. 日本教師教育学会（会員、特別課題研究部会「大震災と教師教育」）
7. 日本社会科教育学会（会員）
8. 東北教育学会（会員）
9. 福島大学教育学会（会員）

<社会的活動>

1. 福島県南相馬市「原町市史編さん事業」専門研究委員
2. 福島県相馬市「相馬市史編さん事業」近代・現代部会調査執筆委員

関 直 規

<研究活動>

【著書・論文等】

1. 「前世紀転換期イギリス公教育における成人教育の萌芽—ロンドン学務委員会の夜間継続学校を中心に—」（単著）『東洋大学文学部紀要』第66集、教育学科編 XXXV III、pp.67-74、2013年3月
2. 「ロンドン成人教育における女性教育の開発と多面的発展—『ウィメンズ・インスティテュート』を事例にして—」（単著）『東洋大学大学院紀要』第49集、pp.351-365、2013年3月
3. 「ロンドンにおけるコミュニティ教育施設の戦略・発展と成果—タワー・ハムレッツ区のアイディア・ストアの事例—」（単著）『日本公民館学会年報』第10集、pp.116-124、2013年11月

【研究助成】

1. 日本学術振興会科学研究費助成事業・若手研究（B）（研究代表者関直規）「ロンドンのアウトリーチ型成人教育におけるカリキュラム開発史の研究」（23730767）（2011年度～2012年度）
2. 日本学術振興会科学研究費助成事業・基盤研

究（C）（研究代表者関直規）「社会教育・成人教育活動における公立学校の地域開放史に関する日英比較研究」（25381092）（2013年度～2015年度）

3. 東洋大学井上円了記念研究助成・個人研究（研究代表者関直規）「日本とイギリスの成人・コミュニティ教育発展史に関する基盤的・実証的研究」（2013年度）

【その他】

1. 「はじめに一励ましあい、高めあうゼミナール」（単著）『2012年度教育学ゼミナール I・II 卒業論文ゼミナール 社会教育学研究成果報告書』第3号、2013年1月

<教育活動>

【学部担当授業科目等】

（学部）教育学入門ゼミナール（第1部）、教育学ゼミナール I・II（第1部・第2部）、社会教育計画論 I・II（第1部・第2部）、文化地誌学（第1部・第2部）、総合 I A「日本の近代化と東洋大学—井上円了の哲学と実践—」（校友会寄附講座）、（大学院）教育文化論特殊講義

<大学・学部管理運営活動>

1. 文学部カリキュラム委員会委員

<学会活動>

1. 日本教育学会（会員）
2. 日本社会教育学会（会員）
3. 日本公民館学会（理事、年報副編集長）

<社会的活動等>

1. 所沢市特別職員社会教育委員
2. 所沢市教育委員会主催「平成24年度社会教育関係団体フォーラム 私たちの団体が目指すもの—団体が担う役割と課題について—」司会、2013年2月、所沢市役所

滝 川 国 芳

<研究活動>

【論文等】

1. 八島猛・栃真賀透・植木田潤・滝川国芳・西牧謙吾 「病弱・身体虚弱教育における精神疾患等の児童生徒の現状と教育的課題—全国の特別支援学校（病弱）を対象とした調査に基づく検討—」『小児保健研究』第72巻第4号、2013年、pp. 514-524.

2. 滝川国芳「てんかん等の病気のある子どもの心理と教育支援」『特別支援教育研究』第674号, 東洋館出版社, 2013年, pp. 8-13.

【研究助成】

1. 日本学術振興会科学研究費補助金(基盤研究(C))「病気を理由に学校を長期欠席している児童生徒の学びの支援システム開発に関する研究」(研究代表者), 2013-2015年度.
2. 日本学術振興会科学研究費補助金(基盤研究(C))「病院訪問教育における効果的なICT活用と評価に関する実践的研究」(研究代表者 福本徹) 研究分担者, 2012-2014年度.

【学会活動】

- 日本育療学会(理事・事務局長)
 日本特殊教育学会(会員)
 日本LD学会(会員)
 日本小児保健協会(会員)
 日本特別ニーズ教育学会(SNE学会)(会員)
 日本学校保健学会(会員)

【講演等】

1. 「病弱教育における教科指導」愛知県立大府養護学校夏期研修特別公開講座・助言指導及び講演, 2013.8.9
2. 「病弱教育におけるICT活用の意義」沖縄県立森川特別支援学校校内研修・講演, 2013.8.26
3. 「特別支援学校におけるICT活用」長野県立寿台養護学校全校公開授業研究会・助言指導及び講演, 2013.11.26
4. 「病弱教育における教科指導」岐阜県立長良特別支援学校校内研修・講演, 2013.12.3
5. 「パネルディスカッション: 病弱支援学校におけるICT機器利活用の可能性」平成25年度文部科学省学びのイノベーション事業・総務省フューチャースクール推進事業公開授業・コーディネーター及びパネラー, 2013.12.6, 京都市立桃陽総合支援学校
6. 「携帯情報端末の利活用の実際―病弱児支援を中心に―」長野県教育委員会特別支援教育ICT推進研究委員会・助言指導及び講演, 2013.12.10, 長野県庁

【学内】

東洋大学人間科学総合研究所研究員

<教育活動>

【学内担当授業科目】

(学部) 特別支援教育概論Ⅰ(第1部・第2部)、特別支援教育概論Ⅱ(第1部・第2部)、病弱児の指導法(第1部)、特別支援学校教育実習演習(第2部)、教育学ゼミナールⅠ・Ⅱ(第1部・第2部)、教育学卒論ゼミナール(第1部・第2部)

(大学院) 発達障害児教育研究演習

<社会的活動>

1. 文部科学省学びのイノベーション事業・総務省フューチャースクール推進事業の実施にかかる京都市地域協議会委員(座長)
2. 東京都教育委員会病院内訪問教育の教科学習の研究・開発事業における検討委員会委員
3. 文部科学省初等中等教育局特別支援教育課「教育支援資料」編集協力者
4. 神奈川県教育委員会・広島県教育委員会・沖縄県教育委員会免許法認定講習講師
5. 認定NPO法人難病のこども支援全国ネットワーク運営委員

谷口明子

<研究活動>

【著書】

1. 谷口明子(2013). 子どもの発達 山崎準二・藤本典裕・幸田国広(編著) 教職エッセンシャル―学び続ける教師をめざす実践演習 学文社 pp.34-41. (2013年8月)
2. 谷口明子(2013). 病気の子どもの不安と教育的配慮 全国病弱教育研究会(編) 病気の子どもの教育入門 クリエイツかもがわ pp.20-28. (2013年8月)
3. 谷口明子(2013). 社会性(規範・規律・礼儀作法・マナー)、依存(分離不安)と自立(心理的離乳)、育児不安 谷田貝公昭・村越晃(監修) しつけ事典―乳幼児期から青年期まで 一藝社 pp. 563-567, pp.643-646, pp.666-669. (2013年9月)

【論文】

1. 矢崎克洋・芦澤稔也・窪田昌彦・谷口明子(2013). 学校に批判的な保護者への対応―経験豊富な教師の語りの質的分析― 教育実践学研究, No.18 pp.1-10. (2013年3月)
2. 酒井厚・東海林麗香・進藤聡彦・谷口明子・寺崎弘昭・長瀬慶来・中村享史・平井貴美

代・堀哲夫・雨宮亘・川村直廣・嶋田一彦・仙洞田篤男・瀧田二三雄・菘原桂・早川健・藤森顕治 (2013). 学修履歴を中心にしたOPPAによる実践的力量形成—山梨大学教職大学院の事例— 教育実践学研究, No.18 pp.20-39. (2013年3月)

【学会発表】

1. 谷口明子 (2013). 教育現場で子どもの重篤な病はどのように説明されるのか 日本発達心理学会第24回大会論文集, p.41 (2013年3月)
2. マーシャル理恵子・中野敬子・谷口明子 (2013). 小学生におけるセカンドステップの効果の検討—共感スキル・自己表現スキルに注目して— 日本行動療法学会第39回大会 (2013年8月)
3. 谷口明子 (2013). 院内学級における子ども観と発達支援 日本質的心理学会第10回大会プログラム抄録集, p.29 (2013年8月)

【研究助成】

1. 科学研究費基盤研究 (C) (2013—2015年度) 「病弱教育におけるキャリア発達支援プログラムの開発」(研究代表者: 谷口明子), 研究代表者
2. 科学研究費基盤研究 (C) (2011—2013年度) 「医療保育士・病弱特別支援教育担当教師の専門性向上のための研修システム構築」(研究代表者: 谷川弘治), 研究分担者

【講演等】

1. 東京都立武蔵台学園府中分教室, 全校研究会講師「入院児の環境移行支援—中1ギャップ支援から見えてくるもの」2013年1月30日
2. 東京都立北特別支援学校東大こだま分教室, 全国公開授業研究会講演「病弱教育における『キャリア教育』再考」2013年2月8日
3. 山梨大学附属中学校, 学校保健委員会講演「思春期のこころの理解—子どもの育ちを支えるために」2013年2月27日
4. 東京都立武蔵台学園府中分教室, 校内研修会Ⅲ講演「病弱教育の実践知をどう伝えるか—これからの校内研究のために」2013年3月13日
5. 東京都立久留米特別支援学校, 校内研修会講演「生きる力を育むキャリア教育」2013年4月19日
6. 東京都立光明特別支援学校そよ風分教室, 校

内研修会講演「入院児童・生徒の心理と教育的援助2013年」2013年5月29日

7. 国立特別支援教育研究所第一期特別支援教育専門研修講師, 「病弱教育における授業実践のための質的研究法」2013年6月6日
8. 東京都立北特別支援学校東大こだま分教室, 校内研究会講演「こだま分教室におけるキャリア教育—ブラッシュアップ—」2013年7月23日
9. 東京都立南花畑特別支援学校, 校内研修会講演「特別支援教育におけるキャリア教育」2013年7月26日
10. 福島県立須賀川養護学校医大分校, 夏季研修会講演「病弱教育における保護者支援—教師支援も視野に入れて—」2013年8月8日
11. 山梨県総合教育センター, 教員研修講師「教育相談に生かす心理学 I & II」2013年8月12日
12. 東京都立久留米特別支援学校, 「自立活動」研究授業指導助言者, 2013年12月12日

<教育活動>

【学内】

(学部) 教育学入門ゼミナール (I 部), 教職総合ゼミナール (I 部), 教育学ゼミナール I・II (I・II 部), 教育心理学概論 (I・II 部), 生涯発達心理学 (I・II 部), 教育学卒論ゼミナール (I・II 部)

(大学院) 教育心理学特殊講義, 生徒指導・進路指導特殊講義, 福祉社会システム基礎特論Ⅳ

【学外】

(学部) 聖心女子大学文学部「教育心理学」, 学習院大学教職課程「教育相談 B」

(大学院) ルーテル学院大学大学院「臨床心理学研究法特論」

<学会活動>

日本質的心理学会 (常任理事・編集委員)

日本育療学会 (理事・編集委員)

日本発達心理学会 (学会誌査読担当)

日本発達障害支援システム学会 (編集委員)

日本教育心理学会 (会員)

日本特殊教育学会 (会員)

日本医療保育学会 (会員)

日本小児保健学会 (会員)

<社会的活動等>

1. 東京都立久留米特別支援学校 学校評価委員・学校運営協議会委員
2. 東京都立北特別支援学校 学校運営協議会委員
3. 財団法人「日本人事試験研究センター」幼稚園教諭試験委員

寺 木 秀 一

<研究活動>

【論文】

1. 「エネルギー環境教育による省エネルギー行動変容の予備的分析」日本エネルギー環境教育研究 Vol.7 No.2 pp.21-28 (共同 中村洋ら) 2013年6月

【学会発表】

1. 「持続可能な社会の実現をめざす低炭素教育」～小学校の各教科教育から総合的な学習の時間における実践の転移～日本生活科・総合的学習教育学会 2013年6月 兵庫県
2. 「下水道」を取り入れたエネルギー教育の動向
～「循環のみち下水道環境教育助成」校の実践から～
日本エネルギー環境教育学会 2013年8月 島根大学
3. 「明るく豊かな低炭素社会の構築を目指した低炭素教育」日本環境教育学会 2013年7月 びわこ成蹊スポーツ大学

【学会活動】

日本エネルギー環境教育学会 (理事)
 野外文化教育学会 (理事)
 日本環境教育学会
 日本理科教育学会
 日本科学教育学会
 日本地学教育学会
 日本生活・総合学習教育学会
 全国小中学校環境教育研究会

【講演】

1. 科学体験ミュージアム・縄文土器のレプリカを作ろう 2013年8月 農と縄文の体験実習館 なじよもん 新潟県津南町
2. 「大人の理科教室 懐かしの科学遊びボランティア養成講座」2013年9月 教育ボランティア等育成講座・ボランティア研修会 尾道市教育委員会

3. 「風力発電と水力発電の原理がわかる体験工作」ふくしま会議2013 2013年9月 福島県

<教育活動>

【学内】

学部

教職論
 教職総合ゼミナール
 初等教育実践研究B
 初等教育実習
 教職実践演習 (小学校)
 初等科理科
 初等教科教育法 (理科)
 教育学ゼミナール I・II
 教育学卒論ゼミナール

大学院

環境教育論特殊講義
 理科教育研究演習

大学 学部

キャリア就職推進委員会
 文学部カリキュラム委員会

<社会的活動>

1. NPO 法人エコテックみらい研究所理事長
2. 環境カウンセラー全国連合会
3. ミニ・エクストリアウムを創る会 共同主宰
4. 文京区立明化小学校学校評価委員長 (講師等)
5. 荒川区立第四峡田小学校 校内研究会 (理科、生活科) 指導講師 2013年4月24日、6月12日、7月3日、10月3日、11月27日、12月4日
6. 荒川区小学校教育研究会理科部 指導講師 2013年1月16日、7月16日
7. 昭島市教育委員会研究指定校 研究発表会講師 2013年11月7日 昭島市立拝島第二小学校
8. 富士箱根現地学習 講師 調布市立科学センター 2013年8月5日 山梨県・神奈川県
9. 「下水道橋博士のスイスイ下水道授業」日本下水道協会 2013年7月～8月 国際展示場

長谷川 勝 久

<研究活動>

【論文】

1. 長谷川勝久, 齋藤昇 (2013): 「学校数学教材バンクシステムの開発—生徒の特性に応じた学力の向上を目指して—」, 数学教育学会誌, Vol.53巻 No.3・4号, 2013, pp.71-83

【著書】

1. 長谷川勝久 (2013): 第2章「数と計算」, 齋藤昇, 秋田美代, 小原豊/編著 (2013): 『子どもの学力を高める新しい算数科教育法』, 東洋館出版社, pp.21-26
2. 長谷川勝久 (2013): Part3-6 「教育評価とそのあり方」, 山崎準二, 藤本典裕, 幸田国広/編著 (2013): 『教職エッセンシャル』, 学文社, pp.137-150
3. 長谷川勝久 (2013): 第7章 「算数的活動について, 2. 多面体とは」, 齋藤昇・小原豊/編著 (2013): 『授業に役立つ算数教科書の数学的背景』, 東洋館出版社, pp. 113-118

【学会発表等 (学会シンポジウム提案を含む)】

1. 長谷川勝久 (2013): 「数学教育における構造的な理解の測定・評価に関する研究」, 数学教育学会誌 2013年度数学教育学会秋季年会発表論文集, pp.121-123

<教育活動>

【学内担当授業科目等 (学部・大学院)】

(学部)

1. 初等科算数
2. 初等教科教育法 (算数)
3. 教育評価論
4. 視聴覚教育 (視聴覚メディア論を含む)
5. 教育学ゼミナール I・II
6. 教育学科卒論ゼミナール
7. 初等教育実践研究 A
8. 初等算数特講

(大学院)

1. 算数・数学科教育研究演習 (通信)
1. 教育方法研究 (情報機器の活用を含む)

<大学・学部管理運営活動>

1. 全学 FD 推進委員会委員 (授業評価手法検討部会部会長)
2. 通信教育委員会委員

<主な所属学会>

1. 日本教育工学会 (会員)
2. 教育システム情報学会 (会員)
3. 日本数学教育学会 (会員)
4. 数学教育学会 (会員)
5. 全国数学教育学会 (会員)
6. 日本科学教育学会 (会員)
7. 教育目標・評価学会 (会員)
8. 日本教育実践学会 (会員)

他

藤 本 典 裕

<研究活動>

【論文】

1. 教育行政、学校組織と教員—法制度に着目して—
『教職エッセンシャル—学び続ける教師をめざす実践演習—』山崎準二・藤本典裕・幸田国広編著、学文社、2013年8月20日、pp.16-23
2. 「子どもの貧困」と教育の諸相
『にいがたの教育情報』No.113、にいがたの教育情報編集部、2013年12月1日、pp.42-52

【その他】

1. 「なりゆく」存在 (巻頭言)
『パイディア』(東洋大学教職課程運営委員会・東洋大学教務部教職・共通教育支援課)、24号、2013年4月1日、p. 3
2. 教師をめざすみなさんへ
『パイディア』(東洋大学教職課程運営委員会・東洋大学教務部教職・共通教育支援課)、24号、2013年4月1日、pp. 4-7
3. 「絆」についておもったこと
『東洋通信』(東洋大学通信教育部)、第50巻第2号 (2013年5月)、pp. 2-3
4. 日本教師教育学会第22回大会公開シンポジウムの記録
『日本教師教育学会年報』第22号、2013年9月15日、pp.128-129
5. 資料編
『教職エッセンシャル—学び続ける教師をめざす実践演習—』山崎準二・藤本典裕・幸田国広編著、学文社、2013年8月20日、pp.177-186
6. 分科会報告21 「教育条件確立の運動」『日本

の民主教育：教育研究全国集会2013報告集』
みんなで21世紀の未来をひらく教育のつどい
教育研究全国集会2013実行委員会編、大月書
店、2013年12月26日、pp.247-256

【講演等】

1. たかがアニメの教育学—サザエさん、ちびまる子ちゃん、クレヨンしんちゃん—
いきがい大学春日部学園、2013年1月8日、
春日部市庄和保健センター本館
2. 子どもの貧困と学校事務職員—学校に福祉的
な眼差しを—
葛飾区立小学校教育研究会、2013年2月20日、
葛飾区立よつぎ小学校
3. 子どもたちはつまづく—教育を考える身近な
ヒント—
学びLIVE、2013年6月16日
4. 学校事務職員はなぜ教職員なのか
埼玉制度研総会・学習会、2013年6月22日、
浦和コミュニティセンター
5. 教育を考えるいくつかのヒント—身近な例を
手がかりとして—
長野県立野沢南高等学校、2013年7月26日
6. たかがアニメの教育学—サザエさん、ちびまる子ちゃん、クレヨンしんちゃん—
綾瀬市教育委員会平成25年度父親家庭教育講座、
2013年7月27日、綾瀬市役所視聴覚室
7. たかがアニメの教育学—サザエさん、ちびまる子ちゃん、クレヨンしんちゃん—
いきがい大学春日部学園（3年課程）、2013
年9月5日、春日部市庄和保健センター本館
8. たかがアニメの教育学—サザエさん、ちびまる子ちゃん、クレヨンしんちゃん—
2013年9月9日、秋田市女性学習センター

【学会活動】

日本教育学会（会員）、日本教育行政学会（会員）、
日本教育法学会（会員）、日本教師教育学会（会員）、
日本教育政策学会（会員）

<教育活動>

学内 教職論（Ⅰ部1.0コマ、Ⅱ部0.5コマ）、教育基礎論Ⅰ（0.5コマ）、教育基礎論Ⅱ（0.5コマ）、教職概論（Ⅰ部0.5コマ、Ⅱ部0.5コマ）、教育学ゼミナールⅠ・Ⅱ・卒論ゼミナール（1コマ）、教育基礎論Ⅰ（通信教育課程、0.5コマ）、教育行財政学研究演習（大学院博士前期、1コマ）、教育学特

殊研究Ⅷ・教育学研究指導Ⅷ（大学院博士
後期、1コマ）

学外 教育制度論・教育課程論（立教大学、0.5
コマ）

<大学・学部管理・運営活動>

東洋大学教職課程運営委員会委員長（2012年4
月1日より）、東洋大学評議員（2012年11月より）、
東洋大学大学院文学研究科教育学専攻長（2013
年4月1日より）

矢口悦子

<研究活動>

【論文等】

1. 「生涯学習セクターの指導者養成における大
学の役割—セントラル・ランカシャー大学
を事例として—」『東洋大学文学部紀要』第
66集、教育学科編XXXVIII、2013年2月、
pp.91-101.
2. 「東日本大震災と『きょうどう』の学び—社
会教育の視点から—」『共生科学』第4巻、日
本共生科学会、2013年6月、pp.1-13.
3. 「社会教育施設（公民館）の機能と省インフ
ラの課題」『公民連携白書2013～2014省イン
フラ』東洋大学PPP研究センター編著、時
事通信社、2013年12月、pp.109-112.

【学会報告】

1. 「社会教育における『共同学習』実践の研究
方法をめぐって」、日本社会教育学会第60回
研究大会、プロジェクト研究「社会教育研究
における方法論の検討」2013年9月27日、東
京学芸大学、『日本社会教育学会第60回研究
大会発表要旨録』pp.19-20.
2. 「成人教育における『偉大な伝統：リベラリ
ズム』の確立と女性たちの学習」、日本ヴァー
ジニア・ウルフ協会第33回全国大会、シンポ
ジウム「ウルフと教育」、2013年11月10日、
成蹊大学。

【その他】

1. 図書紹介「千葉悦子・松野光伸著『飯館村は
負けない—土と人の未来のために』、石井山
竜平編著『東日本大震災と社会教育—3.11後
の世界とむきあう学習を拓く』、村田晶子編
著『復興に女性たちの声を—「3.11」とジェ
ンダー』、『日本社会教育学会紀要』No.49-2、

2013年6月、pp.68-70.

【講演等】

1. 日本社会教育学会6月集会、プロジェクト研究「社会教育研究における方法論の検討」コメントーター、2013年6月9日、筑波大学。
2. 日本社会教育学会60周年記念国際シンポジウム、司会、2013年9月29日、学術総合センター。
3. 「イギリスの子育て支援に学ぶ—シュア・スタート事業を中心に—」、和歌山大学・和歌山信愛女子短期大学「生涯学習フォーラム ネットワーク循環型子育て支援 研究&フォーラム」、記念講演、2013年6月22日、和歌山大学。
4. 「私たちの身近にある男女共同参画—目指す先に何が見えるか—」、東京都江東区第21期パルカレッジ、講演、2013年7月6日。
5. 「男女平等を推進するために」、埼玉県朝霞市男女平等推進審議会、講演、2013年8月7日。
6. 「子育て支援の地域的統合—イギリスのシュア・スタートを事例として—」、大分県臼杵市知活(ちいき)フォーラム、講演、2013年11月24日。

<教育活動>

【学内担当授業科目等】

- (学部) 生涯学習概論Ⅰ(1部、2部)、同Ⅱ(1部、2部)、教育学ゼミナールⅠⅡ(1部)、教育学卒論ゼミナール(1、2部)、初等科家庭(1部)
- (大学院) 教育学特殊研究Ⅰ(博士後期課程)、教育学研究指導Ⅰ(博士後期課程)

<大学管理運営活動等>

1. 東洋大学社会貢献センター所長
2. 東洋大学井上円了哲学塾運営委員
3. 大学院文学研究科委員

<学会活動>

1. 日本社会教育学会(会員、常任理事、学会紀要編集委員長)
2. 日本教育学会(会員)
3. 日英教育学会(会員)
4. 日本公民館学会(会員)

<社会的活動等>

1. 埼玉県朝霞市男女平等審議会委員
2. 埼玉県朝霞市教育行政施策評価会議委員
3. 東京都新宿区地域文化部事業評価委員及び新宿区指定管理者選定委員

米澤正雄

<研究活動>

【論文】

1. 論文「京都帝国大学・同大学大学院在学中の篠原助市における「批判的教育学」確立とデューイ教育思想批判との関係の解明」『(東洋大学) アジア文化研究所研究年報—2012年—第47号』2013年2月28日、pp. 18(215)–39(194).
2. 論文「永野芳夫におけるデューイ思想受容(戦前・戦中・戦後)再考—篠原助市の場合との対比を念頭において—」『東洋大学文学部紀要 第66集 教育学科編 XXXVIII (2012年度)』2013年3月8日、pp. 103–114.

【学会発表】

1. (司会) 日本デューイ学会第57回研究大会(2013年9月21日、於、新潟青陵大学6号館)、「個人研究発表(第1日目)」・「第3会場(6203講義室)」の司会を務める(岐阜大学の柳沼良太氏とともに)
2. (司会) 関東教育学会第61回大会(2013年11月16日、於、玉川大学 大学研究室棟地下1階)、第1会場(大学研究室棟地下1階 101教室)の司会を務める(日本大学の関川悦雄氏とともに)

<教育活動>

【学内】

- (学部) 教育学概論(Ⅰ部、人間発達専攻、春学期)、教育学概論(Ⅰ部、初等教育専攻、秋学期)、教育学概論(Ⅱ部、春学期)、アメリカ思想史(Ⅰ部、春学期)、アメリカ思想史(Ⅱ部、春学期)、教育学演習Ⅰ・Ⅱ(Ⅰ部、通年)、教育学演習Ⅰ・Ⅱ(Ⅱ部、通年)、教育学卒論演習(Ⅰ部、通年)、教育学卒論演習(Ⅱ部、通年)
- (大学院) 博士前期課程:教育学説研究演習(通年); 教育学研究指導(通年)
博士後期課程:教育学特殊研究(通年); 教育学研究指導(通年)

<大学・学部管理運営活動>

1. Ⅰ部教育学科人間発達専攻主任およびⅡ部教育学科主任(2012年4月より2013年3月まで)
2. 教育学科長およびⅠ部教育学科初等教育専攻長(2013年4月より)

3. 大学院文学研究科委員

<学会活動>

1. 日本デューイ学会（会員、理事、学会紀要編集委員）
2. 教育哲学会（会員）
3. 日本教育学会（会員）
4. 教育史学会（会員）
5. アメリカ学会（会員）
6. 社会学研究会（会員）
7. 日本創造学会（会員）
8. 関東教育学会（会員）
9. 筑波大学教育学会（会員）

編集委員

清 水 直 治
矢 口 悦 子

東洋大学文学部紀要第 67 集

教育学科編 XXXIX

[非売品]

2014 (平成 26) 年 3 月 8 日 印刷
2014 (平成 26) 年 3 月 8 日 発行

編集者 東洋大学文学部 教育学科

発行所 東 洋 大 学

東京都文京区白山5-28-20

THE BULLETIN OF TOYO UNIVERSITY

No.67

Faculty of Literature
Department of Education

XXXIX

2013

CONTENTS

Current Issues on Early Intervention Programs for Young Children with Developmental Disabilities and Their Families (9): Development of “A behavior support program of school-age children for parents and teachers: Towards a good life at home, school, community” and how to use of it	SHIMIZU Naoji.....	1
Lesson development standing on the perspectives of Holism – Through cooperative, expressive and creative learning for problem-solving –	SHIMODA Yoshiyuki.....	17
Deployment of the Educational Association of County Branch & County City Unions in Taisho era Fukushima Pref	SUDA Masashi.....	27
The Development of Evening Educational Work and the Specialisation for Free Adult Education: Using “Free Institute” as a Lead	SEKI Naoki.....	45
A Study on Ango SAKAGUCHI as a Teacher — between “kyo-in” and “kyo-shi” —	FUJIMOTO Norihiro.....	53
The Role of University in Teacher Education in Lifelong Learning Sector: Focused on the Reflective Teaching	YAGUCHI Etsuko.....	61
Towards a Clarification of the Actual Situation of ‘New Education’ in the Elementary Schools of Aomori Prefecture, Taisho-Era Japan(Part I): Focused on Parts Played by IGUCHI Nobuo (1893 – 1964), a Teacher of Takko Elementary School in San-nohe, county, Among the Subscribers in Aomori Prefecture, of the Journal Titled ‘ Jiyuu Kyou-iku(Liberal Education)’ published in 1924 by the Elementary School, Chiba Prefecture Normal School	YONEZAWA Masao.....	71

Published by
TOYO UNIVERSITY
Hakusan, Bunkyo-ku, Tokyo